

| | | | | | | | | | |
|---------|--|---|-----------------|--------------------|--------------|--------|--------|--------|--|
| 実施計画事業名 | | 都市間交流推進事業 | | 評価対象年度 | 平成 23 年度 | | | | |
| 評価担当部署 | | 総務部地域振興課 | | 課長(主幹)名 | 布施 茂 | | | | |
| 総合計画体系 | 分野 | 0 | 地域経営(自治) | | | | | | |
| | 政策 | 1 | 持続可能な地域社会づくり | | | | | | |
| | 施策 | 1 | まちに にぎわいを取り戻します | | | | | | |
| | 関連施策 | | | | | | | | |
| 現状と課題 | 沖縄県石垣市と昭和62年に友好都市連携を行って以来、行政間に留まらず各分野において様々な団体が交流の輪を広げている。今後は、引き続き定期的な交流事業の実施を行っていくとともに、遠距離間の交流であることを考慮し、方法等について精査していく必要がある。また、群馬県太田市とも毎年、子供たちの相互交流と職員研修として職員の派遣を行なっている。民間の交流に関しても、物産交流を中心に年々活発になってきている。 | | | | | | | | |
| 目的 | 幅広い相互交流を行うことにより、交流先の都市との間に更なる友好関係を築き上げ、人材育成や地域振興につなげる。 | | | | | | | | |
| 5ヶ年展開の | 石垣市との間において、友好都市締結から5年ごとを節目に、相互において記念事業を展開し、行政だけではなく市民の交流の輪を深める。 石垣市、太田市には職員研修として職員を派遣する。 毎年、青少年交流体験事業として、本市と群馬県太田市の児童・生徒同士の相互交流を行う。 石垣市とスポーツ少年団の交流を隔年で行う。 会津若松市、石垣市において物産交流を行い地場産品や観光のPRを行う。東京都板橋区の商店街において地場産品の販売、観光PRを行う。 | | | | | | | | |
| 成果指標 | 名称 | | 単位 | | | 22年度 | 23年度 | 25年度 | |
| | 交流事業により本市を訪れた人数 | | 人 | | 目標 | 22,500 | 23,000 | 24,000 | |
| | 説明 | 交流事業により石垣市・枕崎市・太田市から来市した人数と会津若松市・石垣市の物産展に来店した人数 | | | 実績 | 25,312 | 27,123 | | |
| 活動指標 | 名称 | | 単位 | | | 22年度 | 23年度 | 25年度 | |
| | 職員交流研修で派遣した人数 | | 人 | | 目標 | 2 | 2 | 2 | |
| | 説明 | 石垣市と太田市分 | | | 実績 | 2 | 6 | | |
| | 石垣市に派遣したスポーツ少年団員数 | | 人 | | 目標 | 0 | 20 | 20 | |
| | 説明 | | | | 実績 | 0 | 11 | | |
| | 太田市に派遣した児童・生徒数 | | 人 | | 目標 | 32 | 32 | 32 | |
| | 説明 | | | | 実績 | 32 | 36 | | |
| | 物産交流の参加企業数 | | 社 | | 目標 | 2 | 3 | 5 | |
| 説明 | 会津若松市・石垣市の物産に参加した企業数 | | | 実績 | 2 | 14 | | | |
| 事業費の実績 | | 単位 | 22年度 (決算) | 23年度 (評価年度決算見込) | 24年度 (予算) | 備考 | | | |
| | 直接事業費(A) | | 千円 | 27,033 | 30,845 | 25,570 | | | |
| | 国庫支出金 | | 千円 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 道支出金 | | 千円 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 起債 | | 千円 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | その他 | | 千円 | 420 | 1,160 | 0 | | | |
| | 一般財源 | | 千円 | 26,613 | 29,685 | 25,570 | | | |
| | この事業にかかる職員数 | | 人/年 | 1.73 | 1.87 | 1.75 | | | |
| 人件費(B) | | 千円 | 11,748 | 13,004 | 12,170 | | | | |
| 計(A+B) | | 千円 | 38,781 | 43,849 | 37,740 | | | | |
| 状況変化 | 実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 平成23年1月、鹿児島県枕崎市市長他が来市し、本市との友好交流都市締結の申入れがあり、返礼と友好交流関係構築に向けての交流推進の先駆けとして、市長、正副議長、経済団体の代表が7月に枕崎市を訪問した。その後、物産交流やパネル展など交流を行い、平成24年4月28日に友好都市締結の調印を行う。平成24年度「政策調整部市民協働課」所管。 | | | | | | | | |

【1次評価】

| | |
|--|--|
| 成 果 | 成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測) |
| | a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 東日本大震災の影響で会津若松市等との物産交流や本市への訪問者が減少した。また他自治体のイベントなどの重複により減少したと思われる。しかしながら、平成23年度に「食マルシェ」が本市で開催され、その中で友好都市ブース(石垣市ブース)を開設し、17,000人の来場があったため、結果的には昨年度より人数が増加となった。 |
| 細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方 | 細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか |
| | b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 本事業の細事業に「物産振興対策事業」が入っているが、本事業は人的交流を主とした事業であり、成果指標についての設定の変更も今後必要となる。 |
| 各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか | a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 |
| | <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> |
| コ ス ト 効 率 | 無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか |
| | a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> |
| 総 合 評 価 | A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 友好都市との周年事業の期間や方法、民間と行政の役割分担、予算のあり方など今後に向けて庁内で整理することになっている。 |

【2次評価】

| | | | | | | | |
|------------------|--|--------|----------|---------|----------|-------|----------|
| 成 果 | a | 細事業の構成 | b | 細事業の進め方 | a | コスト効率 | a |
| 総 合 評 価 | A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。 | | | | | | |

【内部評価委員会】

| | |
|--------|--|
| 意 見 | |
|--------|--|